

## 目標達成計画

作成日：平成 23 年 9 月 13 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	スタッフの中には向上心を持ってない、持たないで働いている者もいる。	仕事そのものにやりがいを持ってもらい、スタッフが目標を持ち前向きに仕事ができるような、環境を作る。	質問しやすい環境を作るため先輩スタッフ(特に常勤者)から積極的にコミュニケーションをとる。疑問・不満等がある場合、かげでは言わずに、遠慮せず上司に相談する。管理者・リーダーはちょっとしたスタッフの変化にも気を配る。必要に応じて声掛けし相談にのる。	6ヶ月
2	13	法人内外の研修を受ける機会は入社時に全スタッフに与えられてはいるが、日々の仕事の中で忘れていくこともある。ホーム会議等で研修もあるが、落とし込みされていない者のいる。介護中の事故もあり、注意すれば未然に防ぐことが出来た。	全スタッフにより高い介護技術、知識を身に付けてもらう。	管理者・リーダーは全スタッフの力量を把握し、その上で個々の弱点を指導したり、それに応じた研修等を受けることを薦める。研修を受けたスタッフはレポート提出し、会議等で発表する。研修等の落とし込み確認テストを考え実行する。	6ヶ月
3	27	記録する内容、書き方がスタッフによってはばらつきがあり、現状の書き方ではケアプランに基づいて業務しているのか分かりづらい。	介護記録の書き方を統一する。	記録の書き方について帳票マニュアルを再度全スタッフに周知徹底してもらう。書き方に問題のあるスタッフは、管理者、ケアマネジャーが個別に指導する。ケアプランをしっかりと頭に入れ業務に取り組む。	2ヶ月
4	49	散歩以外に利用者様と外出するスタッフが少ない。	全スタッフが外出する機会を考え、実行して行く。	買出し業務の内容の見直しをして、利用者様と1つでも買い物に行く。2階・3階で協力していつもと違う散歩の日を作る。	3ヶ月
5	18	業務内容が一部スタッフ主体になっていることがある。	利用者様と家族のような信頼関係を築き、家事等で出来ることは共にしていく。	利用者様と共に料理を作る。簡単なことでもいいので、一緒にしてもらえよう、声掛けや方法を全スタッフが考え実行する。また家事等も同様に考える。	1ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。